

大学院都市持続再生学コース 東大まちづくり大学院 シラバス

講義名	コミュニティデザイン/ランドスケープデザインスタジオ <公園を問う>
担当教員名	小泉秀樹（まちづくり研究室）、三谷徹（建築学専攻・三谷研究室）、熊谷玄（stgk inc.）、中島弘貴（まちづくり研究室）
単位数(コマ数)	3
講義曜日・時限	土曜日3限～5限
講義目的	<p>近年公園の活性化を目指して、指定管理者制度、パークPFIなど民間活力の導入が功を奏している。しかし、公園の本来の価値を体現しているのか？ スタジオでは、改めて公園の意義、在り方、価値を問い直し、さらに新しい公園デザインの方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市の公園を敷地に、その公園のアップデートを考える。 ・企業をピックアップして、その企業が公園をリニューアルするとしたら？という前提でデザインを検討する。 ・SIB・長期的な視野に立った文化醸成地としての公園、まちが公園を持っている意義を考える。 ・公園にまつわる3者（市民、行政、企業）の在り方（運営と企業の在り方、企業の関わり方を規定する行政など）をリデザインする。 ・公園を再考することにより「街」のあり方も問い直してゆく。 <p>課題の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームで敷地をリサーチし、公園の新しい可能性を開くためのコンセプトを話し合う。 ・リサーチ、企業の選定、プログラム、全体計画までをチームで行いその後、敷地をメンバーで分担して具体のデザインを行う。 ・都市の余白を意識する。 ・生成aiを活用する。 ・個人でのエスキスの体験を充実させる。 ・ハードのデザインはもちろん、ソフトのデザインや運営まで提案する。 ・公園でのシーンを一枚スケッチしてみる。
成績評価方法	基本的に最終成果物の出来栄で判定するが、途中段階での参加度合も考慮に入れる。

No	講義日程	講義時限	講義者	講義形式	講義タイトル
1	6月8日	3～5限	三谷・小泉・熊谷・中島	対面	イントロダクション
2	6月15日	3～5限	熊谷・中島	対面	敷地見学
3	6月22日	3～5限	三谷・熊谷	対面	エスキスチェック
4	6月29日	3～5限	三谷・小泉・熊谷・中島	対面	中間発表
5	7月6日	3～5限	三谷・小泉・熊谷・中島	対面	エスキスチェック
6	7月13日	3～5限	三谷・小泉・熊谷・中島	対面	エスキスチェック
7	7月20日	3～5限	三谷・小泉・熊谷・中島	対面	最終発表
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					